

後期基本計画 令和 3年度 政策方針評価書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

担当部長職・氏名	企画総務部長 佐藤 勝之
----------	--------------

1. 政策の令和 3年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	次代への多様な環境変化の中にあっても、持続可能な行財政経営を支えるため、滝沢の価値と未来を創造する人材の育成と、課題解決に向けた組織力の強化、経営資源の確保と資源配分の最適化を進められる部門を目指します。	
--	--	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単位 %	37	40	44	47	50	50	D
			38.4	37.6	35	-	-	△15.4
2	幸福 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.6	76	77	79	80	80	D
			69.1	68.1	71.2	-	-	△63.0
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 06010000 市民の信頼と負託にこたえる行政体制の構築 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単位 %	37	40	43	46	50	50	D
			38.4	37.6	35	-	-	△15.4
2	幸福 06010000 市民の信頼と負託にこたえる行政体制の構築 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	75	77	78	80	80	D
			69.1	68.1	71.2	-	-	△63.0
3	暮らし 06020000 総合計画の推進と未来の価値の創造 総合計画を知っている人の割合 単位 %	15.4	24.4	33.4	42.4	50	50	D
			17.3	22.1	12.1	-	-	△9.5
4	幸福 06020000 総合計画の推進と未来の価値の創造 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	62.5	65	70	75	75	C
			65.4	62.6	62	-	-	12.8
5	暮らし 06030000 行政経営を支える情報システム基盤の確保 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単位 %	37	40	43	46	50	50	D
			38.4	37.6	35	-	-	△15.4
6	幸福 06030000 行政経営を支える情報システム基盤の確保 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	63	67	71	75	75	C
			65.4	62.6	62	-	-	12.8

後期基本計画 令和 3年度 政策方針評価書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

担当部長職・氏名	企画総務部長 佐藤 勝之
----------	--------------

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値 平成30年度	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値 令和4年度	進捗状況 進捗率(%)
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
7	暮らし 06040000 次代につながる財務基盤の確立 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単位 %	37	40	43	46	50	50	D
			38.4	37.6	35	-	-	△15.4
8	幸福 06040000 次代につながる財務基盤の確立 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	63	67	71	75	75	C
			65.4	62.6	62	-	-	12.8
9	暮らし 06050000 市政経営を支える効率的で安定した課税体制の実現 電子申告等の利用率 単位 %	56.8	59	61	63	65	65	A
			65.9	72.8	75	-	-	222.0
10	幸福 06050000 市政経営を支える効率的で安定した課税体制の実現 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	63	67	71	75	75	C
			65.4	62.6	62	-	-	12.8
11	暮らし 06060000 納税しやすい環境の整備と確実な税財源の確保 一般税の収納率 単位 %	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	D
			98.3	98.3	98.6	-	-	0.0
12	暮らし 06060000 納税しやすい環境の整備と確実な税財源の確保 目的税の収納率 単位 %	86.1	86.1	86.1	86.1	86.1	86.1	D
			89.5	89.4	89.3	-	-	0.0
13	幸福 06060000 納税しやすい環境の整備と確実な税財源の確保 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	63	67	71	75	75	C
			65.4	62.6	62	-	-	12.8
14	暮らし 06070000 市民に信頼される会計事務の実現 伝票返却率 単位 %	9.9	8.25	8	7.75	6	6	A
			9.46	5.83	5.76	-	-	106.2
15	幸福 06070000 市民に信頼される会計事務の実現 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	63	67	71	75	75	C
			65.4	62.6	62	-	-	12.8
	単位							
	単位							
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和 3年度 政策方針評価書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

担当部長職・氏名	企画総務部長 佐藤 勝之
----------	--------------

2. 政策の実現に向けての令和 3年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成基本方針に基づく人材育成を図るとともに、人事評価制度の円滑な運用を図りました。 ・総合計画の推進と次期総合計画策定に向けた取組を推進しました。 ・歳入歳出両面からの見直しを図り、一般会計の実質単年度収支が6年連続の黒字となりました。 ・コロナ禍において国等の財源を有効に活用し、効果的な対策事業に資源を配分し事業を実施しました。 ・行政サービスの基盤となる各情報システムの仮想基盤活用等の拡大と安定稼働の確保に努めました。 ・税務職員の資質の向上と適正課税の継続に努めました。 ・税収納対策に継続的に取り組み、一般税、目的税ともに収納率の目標値を達成しました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 3年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事管理と人材育成のための人事評価の運用と働き方改革の推進、後期基本計画のマネジメントと次期総合計画の検討 ・デジタル社会の実現への対応と情報システムの安定運用、財源の確保と安定的な財政運営の推進 ・公平適正な課税と業務の電子化、税の納めやすい環境の整備、適正な会計事務の維持 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事評価制度の公正な運用、後期基本計画の進捗管理と次期総合計画の基本構想等について検討を進めました。 ・税収の確保等と持続可能な財政運営に努め、実質単年度収支の黒字を継続しました。 ・税務職員の資質の向上と国税とのデータ連携を推進しました。 ・適正な会計事務の指導を実施しました。 	

3. 政策の実現に向けて令和 3年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

B	取組みの一部見直しが必要
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の長期化による影響（経済活動、地域活動の停滞、価値観の変化・生活様式の変化、働き方の変化など）、税収への影響 ・デジタル社会の進展に伴う、国のIT戦略の加速化 ・生産年齢人口の減、高齢化の進展並びに制度変更等による社会保障経費の増加による財政への影響 ・長期にわたるマイナス金利政策による資金運用への影響 <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の長期化による経営資源の減 ・有事の際の業務の継続への対応 ・価値観の変化や生活様式の変化に伴う事務事業の見直し ・デジタル社会への対応 	

4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 5年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても着実に総合計画の進展を図ります。 ・経営資源の確保と資源の最適化を継続します。 ・有事においても業務を継続できる体制と人材育成を図ります。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期総合計画の着実な推進 ・経営資源の確保 ・デジタル化への対応 	

